



「家の宗教? 私の宗教?.....」

慈光照護のもと、門信徒の皆さまにはますますご清祥にお念仏ご相続のことと慶賀に存じあげます。

この数ヶ月で世界は大きく変わってしまいました。影響を受けられたみなさまには衷心よりお見舞い申し上げます。浄土真宗本願寺派としても、法要やイベントを中止するだけではなく、全世界のご門徒さまに向けてメッセージを発信してきました。この寺報ではとても掲載しきれませんので、どうか本願寺のホームページをご覧ください。このたび本願寺のホームページが新しくなり、まったく南無阿弥陀仏にご縁のなかった方にも浄土真宗に触れていただけるような工夫がなされています。ふだんは寺報を読む機会のない若い方にもどうぞ教えてあげてください。そしてどうぞ一緒にご覧になっていただきたいと思います。『本願寺』で検索していただくか、西光寺のブログにもリンクが張っております。さて、標題の件ですが、私たちは『浄土真

宗の門徒』ですが、それは「私の家は浄土真宗です」なのか「私は浄土真宗の門徒です」なのか大きく違ってくると思います。もちろん、お嫁に来たという方は、たまたま嫁いだ家が浄土真宗だったのかもしれない。また、実家も浄土真宗だという方も多いと思います。これまでは、あまり疑問も持たずに「うちは浄土真宗です」と言っ



新しくなった本願寺のページ (一部)

は、南無阿弥陀仏とはなにか? ということを今一度聴かせていただきながら、私の宗教として受け止めていっていただけたらと思います。今は末法の世です。令和五年には『親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要』がお勤まりになります。しかしながら、このままでは日本ではそう遠くない未来に、亡くなったご両親、ご先祖に手を合わせる方はいても、阿弥陀仏を心の依

りどころとして「南無阿弥陀仏」とお念仏を申して日々を生きていく人はいなくなってしまうのではないかと思います。それは住職のように、縁があつてお寺に生まれた者でも同じだと思います。お寺に生まれたからお念仏申すのではなく、私が阿弥陀さまとともに生かされているからお念仏申す人生を歩ませていただいているということをも今一度しっかりと心に刻まないといいけません。言うだけなら簡単ですが、本当に難しいです。

でも先日うれしいことがありました。月参りをさせていただいたとき、お若い息子さんも娘さんもご一緒にお参りして下さって、みんなで正信偈をお勤めしました。お勤めがすんだあとに、息子さんから「南無阿弥陀仏の南無ってどういうことですか?」という質問をいただいたのです。住職はうれしくなって、善導大師の「南無といふは、すなはちこれ帰命なり、またこれ発願回向の義なり。」ということをお話しました。南無=帰命 だから南無阿弥陀仏は「阿弥陀仏に帰依いたします」ということになります。浄土真宗のお仏壇には、真ん中にご本尊の阿弥陀如来、または『南無阿弥陀仏』(六字名号)、向かって左側には『南無不可思議光如来』(九字名号)、右側には『帰命尽十方無碍光如来』(十字名号)があります。不可思議光とは『人間のはか

らいを超えた光』無碍光とは『さえぎられることのない光』、どちらも阿弥陀如来のお徳を十二種類の光に例えて称える言葉で『仏説無量寿経』に出てきます。ですからどれも『南無阿弥陀仏』と同じなんです。

こうして、なにかの機会にほんのちよつとずつでも、若い世代の方に浄土真宗のことをお伝えすることができれば、月参りをさせていただくことは住職に与えられた使命だと再認識して励みになります。

「永代経を厳修いたします」

例年なら五月に寺報をお出しして、六月に永代経をお勤めさせていただきましますのでみなさんお参りくださいと御膳米の袋と一緒にのお送りするところですが、まだ本願寺をはじめ各別院でも法座を見合わせている状況です。でも、先にお浄土に往生されていかれた方々をご縁にお勤めさせていただく永代経ですので、西光寺でも内勤めで勤めさせていただこうと思います。お勤めのみで講師の法話はありません。お参りの方がいらつしゃれば、住職が短い法話をさせていただこうと思っております。例年昼と夜の二座をお勤めしていますが、今年は二日に分けて昼のお座を二回お勤めさせていただこうと思います。そして、七回忌を過ぎて納骨堂にご安置しているお骨の本納骨法要は来年に延期させていただきまします。

七月一日(水) 午後二時〜
仏説無量寿経(四十八願)
七月二日(木) 午後二時〜
仏説観無量寿経

※法要看板の設置および、法要前の梵鐘・喚鐘は控えさせていただこうと思っております。

「ご実家にWiFi設置のススメ」

今回のコロナ禍で、ご門徒さまのお宅に月参りにお伺いした際に多くの方がおつしやつていたことが「テレビがコロナのニュースばかりで見えて嫌になる」ということでした。特に一人暮らしのご門徒さまは、外出もできなくてテレビを見るしかなく、テレビはコロナばかりではさすがにお辛かったと思います。西光寺では住職の母はいつもテレビで主にYouTubeの昭和歌謡をひたすら見えています。何もしなくても関連の動画を連続再生してくれるので快適です。おかげで住職も演歌に強くなりました。毎日美空ひばりさんや島倉千代子さん、都はるみさんといった方々の歌を聴いて、ときどきは口ずさんでいます。認知症の進行を少しでも抑えるのにも、わけのわからないニュースを見ているよりはいいかなあと思いますし、お若い方もご実家に戻られたらWiFiが使えるのは便利だと思います。今はテレビに挿すだけでネットが使える便利な機器もいろいろ出ています。携帯やカメラで撮影した

写真や動画などもテレビの大きな画面で家族そろって見られます。住職などは台所で家事をしているときでも、母親が動いて転倒などしないように部屋の様子をタブレットで見守りしています(監視?)。これは家にいなくても(つまり遠く離れた別の場所でも)見ることができるので、一人暮らしの高齢の方の見守りにはたいへん便利です。この機会にお考えになつてはいかがでしょうか。住職でよければいつでも相談に乗りますよ。



「今年度の護持会費について」

ご門徒のみなさまに例年お願いしている西光寺の護持会費(本山等への賦課金とお寺の修繕費など)ですが、現在の社会状況を鑑み、本年度に限り、半期分(半額)をお願いすることにいたしました。ご案内の文書は九月にお手元に届くようにいたします。なお、すでにお納めいただいているご門徒さまには、何らかの方法でお返しさせていただきます。

住職携帯 090-8967-7902
メール soichiro4989@gmail.com
ブログ 西光寺で最高時!